



工業会

The Japanese Association For Non-Destructive Testing Industry (JANDT)

発行元 一般社団法人日本非破壊検査工業会
 〒101-0047
 東京都千代田区内神田2丁目8番1号 富高ビル3F
 電話 03-5207-5960 FAX 03-5207-5961
 URL : <https://www.jandt.or.jp/>
 編集 : 広報部会

令和7年 非破壊検査業界 新春賀詞交歓会を開催

令和7年1月7日(火)、東京都千代田区の如水会館にて「非破壊検査業界 新春賀詞交歓会」を開催し、来賓 65名を含めた業界関係者 220名を超えるご出席をいただいた。

開会にあたり、主催者を代表して長岡康之理事長は「非破壊検査業を営む多くの中小企業では賃上げが困難な現状がある。建築業を対象にした建設キャリアアップシステム (CCUS) は、経験や資格に応じた適正な評価で賃金が支払われる制度で技能者の処遇改善等に取り組んでおり、非破壊検査業でも検討すべき制度ではあるが簡単ではない。当工業会は配筋探査技能者資格を厚労省主導の職業能力評価制度の認定を目指すことで、非破壊検査技術の認知度・信頼度向上及び担い手不足解消に努めていく、皆さまの一層のご協力を賜りたくお願い申し上げます」と挨拶した。

続いての来賓挨拶は、中野洋昌国土交通大臣より「高度成長期以降に整備され、加速度的に老朽化が進むインフラの予防保全や維持管理を効率的に行うため、非破壊検査を用いた詳細調査が不可欠、非破壊検査技術に精通した技術者の果たす役割は今後ますます重要となって行く。国交省では、建設現場のi-Construction2.0による生産性の向上と付加価値向上に努めている。今後も、連携して社会生活の基盤であるインフラを守り続けるため、非破壊検査業界と付加価値の向上に努めていきたい」とご祝辞をいただいた。

続いて、経済産業省製造産業局の須賀千鶴産業機械課長は「非破壊検査業界の皆様には、発電施設やプラント等の産業施設の安全安心を守っていただき感謝申し上げます。今後とも我が国の産業発展をリードし支えていただきたい」とご挨拶いただいた。

日本非破壊検査協会の井原郁夫会長から「当協会



賀詞交歓会のもよう

は異なる2分野による連携を進めている。異なる価値観やスキルを持った多様な人材と連携することで、新たな非破壊検査技術の可能性を見出し、防災・減災に非破壊検査技術が活用できるようになる。非破壊検査工業会と連携しより大きな社会貢献ができると確信している。今後とも当協会へのご支援、ご協力を賜りたい」とご挨拶をいただいた。

公務の合間を縫って駆け付けられた公明党代表の斉藤鉄夫衆議院議員は「世界に冠たる日本の社会インフラが老朽化に直面している。長寿化のため優先順位をつけ有効活用するためのキーの技術が非破壊検査である。政治の分野からも確り支援し発展させ、社会資本の安全安心と国民生活に寄与したい」とご挨拶をいただいた。

日本溶接協会の水沼渉専務理事は「溶接技術はISOで特殊工程と定められ、これが日本全国で使用され一流の品質が担保されている。溶接の設計・施工・検査は三身一体で非破壊検査技術が検査を担っており世界に冠たる溶接技術を誇っている」とご挨拶され乾杯のご発声となった。その後は会場を埋めた出席関係者により歓談の輪が広がり、新年の挨拶が交わされていった。



長岡康之
理事長



中野洋昌
国土交通大臣



須賀千鶴
産業機械課長



井原郁夫
JANDT会長



公明党代表
斉藤鉄夫衆議院議員



水沼渉二
JWES専務理事

令和6年度 合同例会を開催

10月10日、令和6年度の合同例会が関西支部の主催にて参加者42名のもと熊本市の「ANAクラウンプラザホテル熊本ニュースカイ」で開催された。主催者を代表しての場正文関西支部長は「非破壊検査業界は厳しい環境に置かれているが、本日の場で活発な意見交流をとおして活性化を図り、会員各社の益々の発展を祈念する」と開会の挨拶をした。長岡康之理事長は日頃の会の活動に対し謝意を述べた後「現在の業界課題の一つは人材不足であり、検査技術者の力量を適正に評価し労務費単価の引き上げができる賃上げ基盤の構築や人材が確保できる施策の模索など、魅力ある工業会にしていくので協力をお願いする」と挨拶した。続いて、本部事業報告は塙晴行専務理事から24年度の運営体制、主な年間行事、外部団体活動、公明党非破壊検査技術議員懇話会を通じた政策要望などについて説明があり、富田裕樹広報部会長、安田裕之技術部会長、坂本敏弘教育部会長、渡邊正宏認証部会長、安全部会は神林吉治関西支部安全委員長がそれぞれの部会活動について説明した。



的場正文
関西支部長



長岡康之
理事長



合同例会のもよう

また、くまもとよかとこ案内人の会の黒瀬洋介様より「もっと!もーっと!くまもっと」と題した特別講演が行われた。その後に開催された懇親会では、「火の国ビンゴ大会」と銘打った余興が行われるなど親睦が図られ、小田原勝彦東日本支部支部長のもと中締めとなった。

K 経験豊富な実績

E 笑顔で、業務に取り組みます

I いつでもどこでもあらゆるニーズにお応えします

放射線透過試験／超音波探傷試験／磁粉探傷試験／浸透探傷試験
過流探傷試験／漏れ探傷試験／レーダー探査／気密・耐圧試験

KEI 京浜検査工業株式会社

原子力規制委員会使用許可・CIW認定業者

本社：横浜市金沢区福浦2-6-10

TEL：045-701-2072 FAX：045-784-4100

山形営業所：山形県南陽市若狭郷屋253-2

TEL：0238-43-8100 FAX：0238-43-8108



非破壊検査全般
一般労働者派遣事業社

株式会社 検査技研

本社 〒210-0821 川崎市川崎区殿町1-15-3

TEL 044-280-2781 FAX 044-280-2782

新潟支店 〒945-0032 新潟県柏崎市田塚3-10-12

TEL 0257-23-0280 FAX 0257-23-0765

お客様に寄り添い共に協力して

迅速かつ正確な検査サービスを提供し

安心安全な環境作りをモットーに企業活動して参ります

新東技検株式会社

ShintoGiken <https://www.shinto-giken.co.jp/>

本社 〒224-0054 横浜市都筑区佐江戸町393番地6

TEL 045-929-1533(代) FAX 045-929-1534

埼玉出張所 〒367-0042 埼玉県本庄市けや木2丁目3番1号

TEL 0495-21-1946 FAX 0495-23-3928

アンカー工事
スタッド工事
ハツリ工事
耐震補強

引張試験
鉄筋探査
レントゲン

ダイヤモンド販売
コアビット販売
ハンドカッター販売
カップサンダー販売
道路用ブレード販売

ギスグリ工事
ドコヤモ

社団法人 日本建設あと施工アンカー協会加盟
中央総業株式会社
神奈川相模原市南区相模大野3-20-1 中央総業ビル4F
☎ 0120-07-1222 FAX 0120-07-5585

東日本支部 年末例会

東日本支部(小田原勝彦支部長)は12月3日、川崎商工会議所で令和6年度年末例会を開催し33名が参加した。開催に先立って小田原支部長は「経営基盤の強化、技術員の育成、技術の研鑽などの課題に対し、相互に知恵を出し合い、目標に対する政策を推進していきたいと考えている」と述べ、引き続き支部活動の支援と協力を求めた。また、長岡康之理事長は「人手不足の問題に対し、安定した魅力ある業界であるための努力が必要である。今後も皆様のご協力をいただきたい」と述べた。その後は、特別講演として中小企業診断士・社会保険労務士の島崎高偉氏を招き、経営交流会として「Z世代の採用と定着・育成のポイント」の講演が行われた。深刻な人手不足の中、労働観や価値観が違う『Z世代』である若手社員の採用・定着・育成に苦慮する会社が多く、Z世代が就職先を決める際に重視することや退職理由などから現況をチェックし、Z世代に届く採用戦術が必要である。『褒める・叱る』についても具体的な説明があった。講演終了後の交流会では、佐々木さやか参議院議員から祝辞をいただき、歓談の輪が広がった。



小田原勝彦
東日本支部長



島崎高偉
講師



長岡康之
理事長



例会のもよう

関西支部 令和7年新春賀詞交歓会を開催

関西支部(的場正文支部長)は、1月10日に大阪市北区のホテルグランヴィア大阪にて、非破壊検査業界新春賀詞交歓会を開催し、関西地区の非破壊検査に係わる行政、団体及び会員など98名が参集した。

的場支部長は「AIやIoT等の新技術で非破壊検査の進展が期待されるなか、マンパワー不足等の課題にも積極的に取り組み、非破壊検査が持つ可能性を最大限に引き出し、社会貢献及び業界の認知度向上に努めていく」と挨拶した。

続いて、近畿地方整備局の長谷川朋宏局長は「労務単価上昇や資材高騰を踏まえつつ、激甚化・頻発化する災害に対応できる事業国土強靱化中期計画に盛り込む必要があると考えている」と、大阪労働局労働基準部健康課の山口浩光課長は「インフラ施設は整備から40年以上経過し膨大な構造物に予防保全型維持管理が必要、非破壊検査で安全な補修・補強・改修工事を行っていく」と、近畿経済産業局製造産業課の栗原浩介課長補佐は「インフラのメンテナンスや新エネルギー分野における設備管理等に非破壊検査の役割は一層増している」と、和歌山大学システム工学部の村田頼信教授は「万博で関西から活性化して日本に広がることを期待する」と挨拶された。

JSNDI関西支部の横野泰和支部長の発声で乾杯が行われ祝宴へと移った。鰐淵洋子衆議院議員、山本香苗公明党中央幹事より挨拶を頂戴し、来賓及び会員同士の歓談の輪が広がり祝宴が盛り上がり、富田裕樹前支部長の中締め挨拶により散会となった。



関西支部 賀詞交歓会のもよう



的場正文支部長

JEC 日本エンジニアリング株式会社

- ◇ 鋼、コンクリート構造物の調査・各種試験
- ◇ 各種プラントの目視検査・非破壊検査
- ◇ その他非破壊検査業務全般



安全で安心な
生活環境を
目指して
非破壊検査と焼鈍工事の



ユキビルド 株式会社

〒210-0808 川崎市川崎区旭町1-9-10
TEL:044-222-3222 FAX:044-201-6532

西日本支部 令和7年賀詞交歓会を開催

1月17日、西日本支部（清水重之支部長）は北九州市小倉北区の「リーガロイヤルホテル小倉」にて、三宅啓介安全委員長の司会により令和7年賀詞交歓会を開催した。

冒頭挨拶に立った清水支部長は「非破壊検査業界においても人手不足が深刻な課題である。そこで本部活動にて業界の知名度を高める方策の一つとして、非破壊検査関係の資格を国家資格に移行することを検討している。また、編集委員会は広報やホームページの効果向上にも取り組み、魅力ある団体を目指している。西日本支部活動においても、アンケート要請による講座・支部大会・秋期例会・合同例会等を計画している」と挨拶した。

来賓祝辞は、秋野公造参議院議員が「質の高い検査について、関連資格を国家資格化することは重要と考え、検査業界の一員に加わる方のためにも、目標点のひとつと位置づけられれば良い」と応じた。

中島隆治北九州市議会議員は「市議会において、新技術の導入や様々なノウハウを持つNDT工業会との連携について提案した。老朽化する北九州市のインフラに対してこれらの対応を進めたい」と述べた。

九州工業大学の加藤光昭名誉教授が「検査技術は日進月歩だが最後は人の技が必要」として学び続けることの大切さを強調し、乾杯のご発声で開宴した。

定刻になり、松村康人顧問の締め挨拶で散会となった。



清水重之
西日本支部長



中島隆治
北九州市議会議員



秋野公造
参議院議員



交歓会のもよう

放射性同位元素等安全管理委員会(放安委) 令和6年度大会・見学会を実施

11月1日放安委は、富山県のANAクラウンプラザホテル富山会議室にて委員16名、オブザーバ8名、事務局1名、オンライン参加9名の合計34名出席のもと、令和6年度大会を開催した。会議では、定足数の確認に続き、令和5年度会計・事業報告、令和6年度活動計画が報告され、全会一致で承認された。次に、理化学研究所安全管理部の杉山和幸氏（元原子力規制庁 技官）による「非破壊検査装置に関する新法対応」、三菱重工パワー検査の山田一理前委員長による「最近の規制行政への提言」の特別講演が行われた。引き続きの委員会では、防護措置に関する立ち入り検査、運搬に関する運輸局法改正に対する措置について情報交換を行った。



大会のもよう

前日の10月31日には、カミオカラボ、仁右エ門用水発電所の見学会を行った。宇宙線や重力波など馴染みのない物理現象やその観測について丁寧で分かりやすい説明を聞き、まだまだ謎が多く目には見えない素粒子の世界を、「スーパーカミオカンデ」など、ニュートリノ研究の聖地である飛騨神岡で感じる貴重な体験であった。

お客様と社員に信頼される

企業でありつづける



溶接検査株式会社

本社：〒985-0853

宮城県多賀城市高橋4丁目13-1

TEL：022-352-3459

FAX：022-352-3460

URL：http://yosetsukensa.com

出張所：青森・山形・秋田

技術と信頼であらゆるニーズにお答えします

"High Quality Inspection Service"



株式会社 アイ・エム・シー

事業内容 ■ 非破壊検査全般 ■ タンク・プラント保守検査
■ インフラ点検全般 ■ 品質管理業務

認定 (一社)日本溶接協会(CIWI)認定 A種
ISO9001 認証 JMAQA-1790

一般建設業許可 国土交通大臣許可(般-6)第23267号 他
本社 〒652-0898 神戸市兵庫区駅前通5丁目3番14号
TEL 078(577)3691 FAX 078(576)2008

URL <https://imc-ndi.com>
事業所 千葉事業所/中部事業所/関西事業所

超音波フェーズドアレイの最新機能を用いた溶接部検査の効率化

1. はじめに

超音波フェーズドアレイ（以下PAUT）は従来の超音波探傷（以下UT）に比べ、探傷精度向上や探傷時間短縮化などの多くの利点を有することから様々な分野での適用が進んでいる。溶接部検査においてもPAUTの普及は同様の理由により進んでいるが、一方において装置構成及びデータ解析が複雑化するという問題点も指摘されている。特に最近ではPAUTときずサイジング精度に優れたTOFDを組み合わせて検査を行うニーズが多く、装置構成とデータ解析はより複雑化する傾向にある。ここではこの問題に対して、複数の探触子をシンプルに組み込んで使用する事が可能なスキャナーと、データ解析の労力を大幅に軽減することが可能なソフトウェアを組み合わせることで、PAUTをより簡便に使用方法を紹介する。

2. ポータブルフェーズドアレイ探傷器 OmniScanX3

OmniScanX3はUT・TOFD・PAUTだけでなく、近年新しい技術として注目を集めるトータルフォーカシングメソッド (TFM)・プレーンウェーブイメージング (PWI)・フェーズコヒーレンスイメージング (PCI *OmniScanX3 64モデルのみ)を使用することが可能なマルチ探傷器である。本装置は2003年に発売されたOmniScanMX1の3世代目となり、長年培った装置開発の経験と使用性等の現場の声を活かすことで操作性の最適化を図り、複雑化する傾向のあるPAUTの操作性や設定の簡素化を実現している。

3. スキャナー及びソフトウェア

AxSEAMスキャナーは最大4個の探触子をマウントすることが可能で、スキャナーを変形させることで平板及びパイプ周方向/長手方向溶接部に対応可能な多目的用スキャナーである。スキャナーの変形や探触子位置等全ての調整はドライバーなどの治具なしで行うことが可能なシンプル構造としており、現場におけるスキャナー調整時間と労力を大幅に軽減することが可能である。また、AxSAEMスキャナーには検査速度とカップリング状態を常時監視するメーターを備え付けており、これはデータ抜けなどを防止し検査品質を向上させることを目的としている。Weldsightソフトウェアはデータ取得及び解析を行うことが可能なソフトウェアである。本ソフトウェアは溶接部に対し両側から取得した複数の検査データの合成や、解析アシスタントツールを使用して解析時間を大幅に軽減することが可能となる。特に解析アシスタントツールは独自のアルゴリズムを使用することで、指定した条件(エコー高さや指示長さ等)を基にきずを自動でリストアップすることが可能で、例えば10mを超えるような溶接線の検査データを解析する場合に大幅な解析時間の短縮化を実現する。

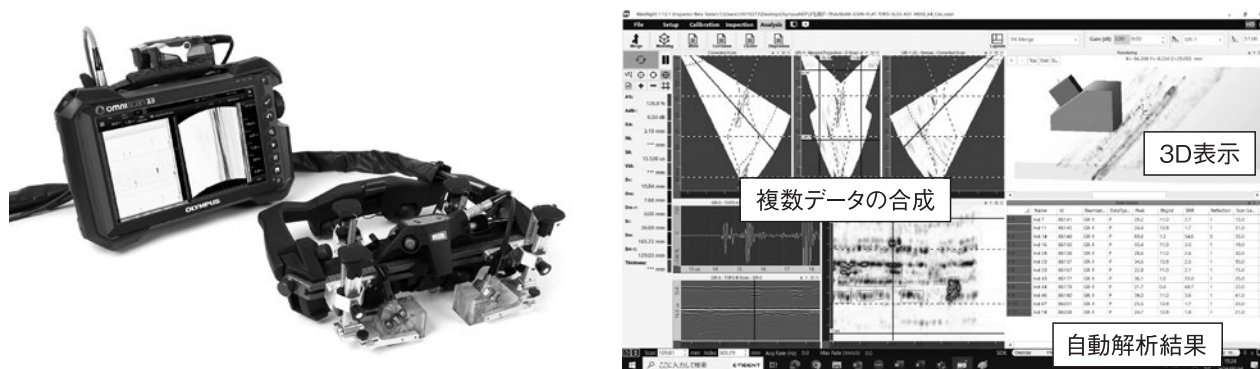


図1. OmniScanX3とAxSEAMスキャナー(左)、Weldsightソフトウェア(右)

4. おわりに

本項では溶接部に対しての最適化を紹介したが、溶接部検査だけでなく検査目的に応じて様々なソリューションが構築可能である。これからも検査員の作業負担を軽減し、検査の効率化を図ることが求められており、非破壊検査業界の発展を祈念する。

接触媒質が要らない超音波検査法を実現した超音波プローブ「乾探」の開発

1. はじめに

従来の超音波プローブは接触媒質（水、油、グリセリン等）を使って超音波の伝達効率を向上させる必要があった。そのため、接触媒質を嫌うEV 車載電池などへの使用が難しかった。また、プローブ探傷面は固い素材のため、曲面を有する被検査体に直接当てて検査・計測することが出来なかった。今回開発した図1の「乾探（かんたん）」は接触媒質を使わないで、かつ被検査体の形状（平面・曲面）を問わず検査・計測を可能とした。

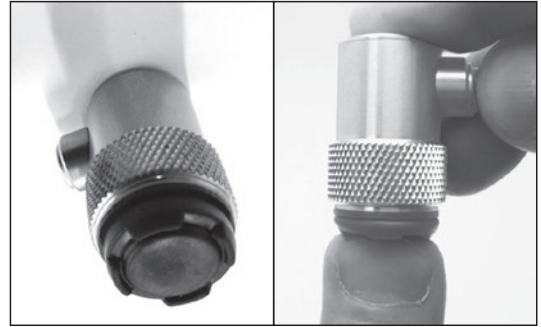


図1 乾探外観

2. 超音波プローブ「乾探」とは

独自開発した図2の整合層は、樹脂系素材と金属系素材の配合比を工夫し音響インピーダンスを調整した事で材質にかかわらず使い、かつ揮発しにくい液体を配合することで被検査体になじみ、超音波の伝達性を高めた。また、可撓性を有するコンポジット振動子、ダンパー材で構成された2層構造に切れ目を入れる事で柔軟性を実現した超音波プローブである。市販の超音波探傷器でも使用ができるよう利便性も兼ね備えている。

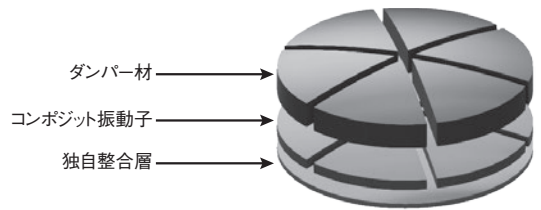
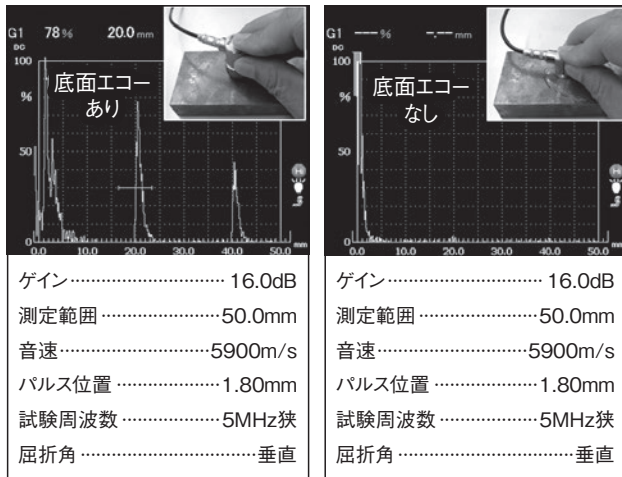


図2 独自開発した整合層他

3. 性能評価

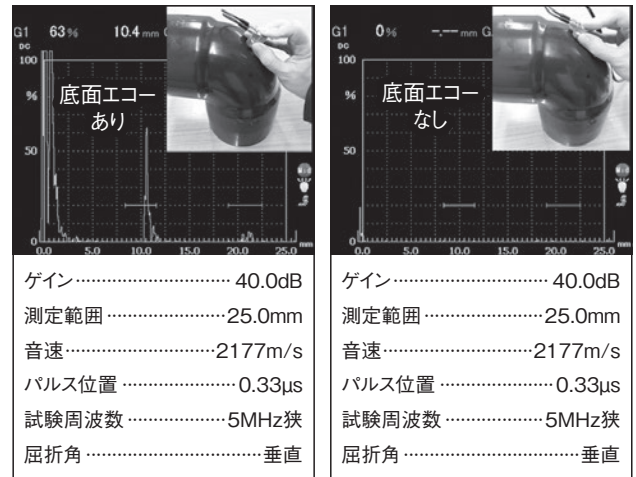
図3は試験片（鋼板）に接触媒質を塗布しないで計測した写真と波形を示す。「乾探」では底面エコーが得られたことで接触媒質なしで検査・計測が可能である。図4は3次元曲面を有するエルボ配管に接触媒質を塗布しないで計測した写真と波形を示す。「乾探」では底面エコーが得られたことで、接触媒質なしで曲面を有する被検査体にも問題なく使用が可能である。接触媒質なしで高感度と柔軟性の両立を達成した。



(a) 開発品「乾探」

(b) 従来品

図3 鋼板（平面）の計測例



(a) 開発品「乾探」

(b) 従来品

図4 エルボ配管（3次元曲面）の計測例

4. おわりに

非破壊検査として航空・宇宙・自動車分野、特に品質劣化を嫌う電池・電子分野をはじめ、接触媒質の塗布・拭き取りが無くなったことで検査コスト・時間を低減したい顧客層への需要を見込む。

更に媒質供給が不要となったことでドローン、ロボットへの搭載を容易とした。工業系以外では、医療分野での応用も見込まれる。

問合せ先：ジャンププローブ（株） 営業・設計部 星野秀和

TEL：045-242-0531 FAX：045-242-0541 E-Mail：h.hoshino@jp-probe.com HP：https://www.jp-probe.com/

首都圏外郭放水路を見学

11月15日、東日本支部技術委員会(安田裕之委員長)と機材支部計測分科会(清良平委員長)は首都圏外郭放水路の見学会を合同で開催した。埼玉県春日部市にあるこの施設は、地球温暖化による大雨や短時間集中豪雨による災害対策として2006(平成18)年6月に全区間が完成した。この防災地下神殿の見学会に19名が参加した。

首都圏外郭放水路は、世界最大級の地下放水路で日本が世界に誇る防災システムである。参加者は巨大な洪水防御施設や放水路の役割を伝える展示・学習施設で、スタッフから施設の概要や仕組みについて説明を受けた後に、調圧水槽を見学するため地下へと続く116段を下って行った。地下22mには、長さ177m、幅78m、高さ18mの巨大な柱と空間が広がる調圧水槽が広がり、その光景から地下神殿と言われている。参加者は巨大な柱と圧倒的スケールの地下神殿に威圧されながらの見学となった。放水路を後にした参加者は、茨城県内で昼食をとった後、バスで新宿まで戻り解散した。



地下神殿



地下神殿にて

安全部会 ～令和6年度の安全衛生標語選出作品～

(敬称略)

安全標語

優秀賞 理工サービス 松浦 晋也 「無意識に 動いた先に落とし穴 意識を高めて無災害」
 優良賞 ジャスコ 濱田 剛士 「あぶないぞ!先に残すなその危険 気付いて改善 安全職場」

衛生標語

優秀賞 日本シーレーク 加藤 みか 「小さな気配り 元気なあいさつ みんなで育む 快適職場」
 優良賞 東洋検査工業 児玉 浩志 「明るい笑顔と元気な挨拶 快適職場を仲間とともに」

CIW 認定 A種 想像から創造へ 今感動の技術
 労働者派遣事業許可
 ISO9001 認証 JMAQA-1749



株式会社ダンテック

- 非破壊試験検査全般
 - 各種プラント保守点検
 - 品質管理
 - 建築・土木構造物調査診断
 - 各種設備・配管劣化調査
 - 破壊試験・化学分析等材料試験
- 本社 〒530-0043 大阪市北区天満4丁目14番13号
 TEL.06(6354)3641 FAX.06(6354)2707



安全を見つめています

CIW検査事業者認定 C種
 労働者派遣事業

アトミック工業株式会社

営業種目: 非破壊検査全般
 インスペクター・品質管理
 各種監督業務・調査業務等

本社 〒731-0103 広島県広島市安佐南区緑井1-28-45
 TEL 082-870-3131 FAX 082-870-3210
 URL <http://www.atm-kogyo.co.jp/>
 E-mail honsya@atm-kogyo.co.jp
 福山営業所 〒721-0963 広島県福山市南手城町3-17-17
 TEL 084-928-4533 FAX 084-944-5005
 E-mail fukuyama@atm-kogyo.co.jp



“診る”を究めて

人と技術を「安全」という強固な絆で
 結び、「安心」を提供します。

新日本非破壊検査株式会社

営業本部 〒803-8517 北九州市小倉北区井堀4丁目10番13号
 TEL:093-581-1234 FAX:093-581-4567
 東京営業部 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町16-9
 aLATO日本橋小伝馬町 3階
 TEL:03-6661-1307 FAX:03-6661-1308
<https://www.shk-k.co.jp>



住重アテックスは、
 試験検査技術のエキスパートとして、
 社会に産業に貢献します。

調査・診断・非破壊検査サービス

- ・フェーズドアレイUT法
- ・デジタルX線
- ・3Dレーザ計測
- ・ドローン点検
- ・壁面走行ロボット (目視・肉厚測定)

Acceleration Technology and Examination



住重アテックス株式会社
 本社所在地
 〒799-1393 愛媛県西条市今在家1501
 TEL:0898-64-6934 FAX:0898-64-6959
 各拠点: 東京、神奈川、千葉、愛知、岡山、愛媛

お問い合わせ



第21回インフラ調査士一次試験を実施

11月14日学科試験(一次試験・再試験)が関東・関西で同時に行われた。

【学科試験】新規受講・受験者数：47名、
再試験者数：13名

資格	橋梁(鋼橋)	橋梁(コンクリート)	トンネル	付帯施設
受験者数	49名	53名	47名	54名
合格者数	35名	44名	40名	20名

【講習会開催情報】

インフラ調査士講習会 [教育部会]		
10月11日	Zoomウェビナー	受講者47名
配筋探査オンライン講習 [教育部会]		
10月9日～30日	eラーニング	受講者66名
第2回エックス線安全取扱教育講習 [安全部会]		
11月1日～12月31日	eラーニング	受講者111名
化学物質のリスクアセスメントに関する説明会 [安全部会]		
12月6日	Zoomウェビナー	申込社数310社

本 部	会員 動向	令和7年1月31日 現在 194社 東日本支部 77社、関西支部 42社 西日本支部 42社、機材支部 33社
	退 会	■関西支部 三協エンジニアリング株式会社 (令和6年12月31日付)

第33回 配筋探査技術者資格試験を実施

11月28日「コンクリート構造物の配筋探査技術者資格
認証学科(一次)試験」が実施された。

受験者情報は表のとおり。

学科(一次)試験結果					
	関東	関西	受験合計	合格者	合格率
新規受験	42名	63名	105名	77名	73%

実技(二次)試験日程予定		
受験地	関東(川崎市)	関西(大阪市)
日付	2月25日～26日	2月13日～14日

【講師派遣情報】

日本鑄造工学会「鑄造品の超音波試験技術者養成講習会」
東京会場2日間：11月21日～22日

EVIDENT NEW

3D画像生成/計測ソフトウェア 3DAssist



長さ・凹凸の測定
スケイラー計測
(配管内径等基準寸法が必要)

基準に対しての凹凸を
色分けして表示
カラーマップ機能

**内視鏡検査動画の任意シーンを3D化、
自由な位置・角度から不具合箇所を確認可能**

株式会社エビデント ☎ 0120-58-0414 (フリーダイヤル) www.EvidentScientific.com

サンコウの測定器・検査機器

非接触膜厚計コートマスター FLEX

◆ウェット/乾燥状態の
コーティング層を非接触で
測定可能!




SANKO 株式会社サンコウ電子研究所
 東京：03-3254-5031 大阪：06-6881-1230 仙台：022-292-7030
 名古屋：052-915-2650 福岡：092-282-6801
 URL <https://www.sanko-denshi.co.jp>

InspectionWorks

Solutions start here...


工業用内視鏡製品



Real3D 計測技術 (きず認識サポート)


Waygate Technologies

超音波製品



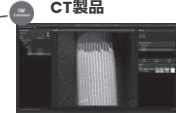
Krautkrämer 75
USM100& USM100 PRO

デジタイザ・CR/DR製品



FS50B CRxVision

CT製品



X|Approver

DXR75P,100P,140P CRxFlex | 日本ベークハウス株式会社 | ウェイゲートテクノロジーズ非破壊検査機器事業本部
 Waygate-tech.com/jp | メール: BJJapanComm@bakerhughes.com

非破壊検査機器の販売・修理・校正・レンタル





支える、の一番近くに。

RIKOH-S 理工サービス株式会社

〒733-0035 広島市西区南観音6丁目3番10号
 TEL: (082)292-2552 (代) FAX: (082)295-0566
 E-mail: rikoh@rikoh-s.com URL: <https://www.rikoh-s.com/>

RYOSHO 超音波探傷器

◎標準機能からRタイプ機能まで幅広いニーズに対応。
 ◎「中小企業等経営強化法の適用」で税制措置を受けることができます。




UI-S9 UI-R1

Rsec 菱電湘南エレクトロニクス株式会社

〒247-0066 神奈川県鎌倉市山崎25番地
 TEL 0467-45-3411 FAX 0467-44-7517
 URL: <http://www.rsec.co.jp>
 E-mail: info@rsec.co.jp